

ウェルフェア イズ ラヴ♡

2025 年 11 月 13 日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ🌟）

先日の『福祉新聞』に、「内閣府が公表した、“認知症に関する世論調査”の結果速報によると、認知症に対する否定的なイメージが減少した。」という内容の記事が掲載されていました。

[否定的イメージ減少 認知症の世論調査〈内閣府〉 - 福祉新聞 Web](#)

喜ばしく好ましいことではあるけれど、「認知症基本法」の認知度が低いことについては、来月認知症基本法に関する研修会（[当事業所主催研修会”『認知症』について～身近な人が認知症になった際に使える制度を中心に～”（2回目）開催のご案内 | 社会福祉士相談所 LOVE](#)）の開催を計画している当事業所にとって複雑な心境ではあります。

とはいえど、やはり社会や世の中というものは、（法律等の）知識や科学的根拠よりも、そこで生活する方々の実感・肌感覚によって創られていく、変わっていくということを示しているのかもしれない。

そして当事業所代表が気になったもうひとつの点としては、自身が認知症になった場合に、「地域で暮らしたい」という意向の方が50%と半数に達している一方で、「施設で暮らしたい」という意向を持つ方も42%いらっしゃる。私たち社会福祉関係者はとにかく地域で暮らすことに重きを置きがち。それ自体は決して悪いことではないかもしれないけれど、まずは本人の想いにしっかりと耳を傾け、本人の意思・選択を全力で支援することが大切なことを、改めて教えられました。

💬 スタッフのヒトリゴト 💬

先日本当に久し振りに、当事業所代表が卒業した特別支援学校に立ち寄りしました。表向きの目的は同窓会総会に出席することだったのですが、私としては同日に開催されていた学校祭の見学を兼ねて、数年前に大改装されて新しくなった校舎を見学することが、隠れたいちばん大きな目的でした。実際見学して（歩いて）、私が在学していた頃よりもずっとバリアフリー化が進み、とっても歩きやすい校舎になっていたこと、感激しました。私が卒業してから25年程が経過し、当時の先生方もさすがにいらっしゃらず、私と近い年代の方々の参加も少なかったのですが、それでも楽しく充実したひとときを過ごすことが出来ました。

♡LOVE のラブラブな実践♡

先日の『福祉新聞』に、「被虐待者の 64%が支援現場で二次被害を受けている」という趣旨の記事が掲載されていました。

当事業所代表自身は被虐待の経験はないけれど、

二次被害を受けた場合は医療や福祉、行政機関などの割合が多かった。相談内容の軽視や否定、責任転嫁などがあり

という部分に思うところがあり、ブログ記事を書いてみました。宜しければ読んで頂けると嬉しいです。

「支援者による二次被害」は許せないよね…。 | 社会福祉士相談所 LOVE

「その人」の傷の大きさや痛みの強さ、辛さは「その人」にしか解らない。だからこそ、安易に意見や叱咤激励をせず、じっくりと耳を傾ける必要がある。支援者と呼ばれる方には心に留めて欲しい視点です。

県内の福祉イベント案内 他♪

11月15日（土）の13：00～16：00、高松市の瓦町フラッグにて、香川県ひきこもり地域支援センター アンダンテ主催のフェスティバル『あんだんて祭』が開催されます（参加無料）。当事者兼ひきこもりサポーターの方々によるトークショー「語ろう！教えて！ひきこもりから回復するきっかけって？」やワークショップ（キッチンペーパーを使ったお花作り）、展示コーナーやミニ相談コーナー等の催しを予定されているようです。お祭りなので、申込等は不要と思いますが、詳しく知りたい方や気がかりなことがある方は、は香川県ひきこもり地域支援センター アンダンテ（電話：087-804-5115）までお問い合わせ下さいませ。

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♡